

庄原市斎場再編整備計画 vol.2

策定

市民生活課市民生活係 ☎ 0824-73-1154



現在の庄原市斎場

先月号で庄原市内の斎場の現状をお知らせしましたが、今回は「斎場の再編」についてお伝えします。

現 状 と 課 題

① 斎場施設および火葬炉の老朽化

先月号でお知らせしているとおり、庄原市斎場をはじめどの斎場も施設設備全般が老朽化しているため、修繕時には他の施設を利用しなければならないことなど、安定的な火葬が行えないという懸念があります。

② 適正な施設数および火葬炉数

今後の死亡者数の推計値から火葬需要を算出すると、最も死亡者数が増える平成41年に必要な火葬炉数は5基です。現在、全斎場の火葬炉を合わせると、10基あるので過剰と言えます。適切で効率的な施設管理を行うため、適正な規模の炉数が求められます。

③ 維持管理経費の増加

火葬炉の耐用年数はおよそ15～16年とされています。多くの施設でこの年数を超え、修繕も増えています。火葬炉の修繕費は年間500万円以上要しています。今後、維持管理経費の増加が予想されます。

課題の整理

① 新斎場の建設

老朽化が著しい現在の庄原市斎場を、新しく建設

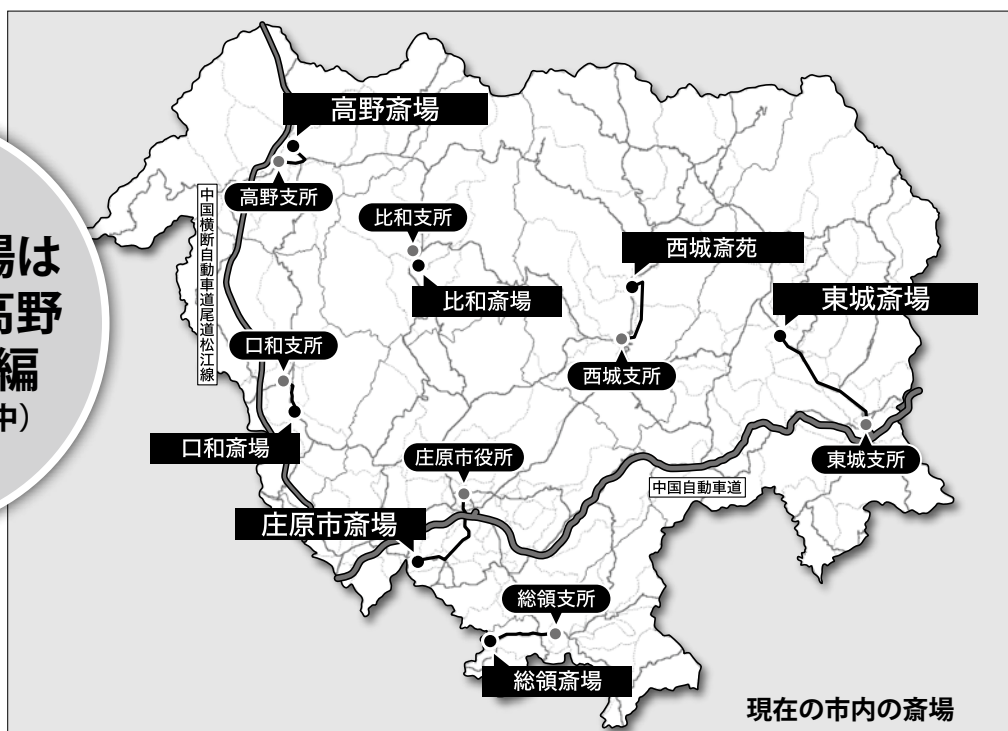
② 施設数・火葬炉数の適正化

過剰な施設数・火葬炉数を適正にするため再編

③ 維持管理経費の縮減

斎場数を減らすことで、維持管理にかかる経費を抑制

7つある斎場は
庄原・東城・高野
の3つに再編
(再編時期は検討中)



現在の市内の斎場

●次回は「庄原市斎場建設の概要」についてお伝えします。